

2．生活環境および市政全般について

2 - 1．生活環境評価

満足度が最も高いのは「日常の買物の利便性」(61.2%)で、不満度が最も高いのは「バスの利便性」(52.5%)。重要度が最も高いのは「ごみの収集、処理対策」(71.4%)

問2．あなたは、次の項目についてどの程度満足していますか。また、どの程度重要だと思いますか。それぞれについて、あなたのお考えに近いものを選んでください。(は1つずつ)

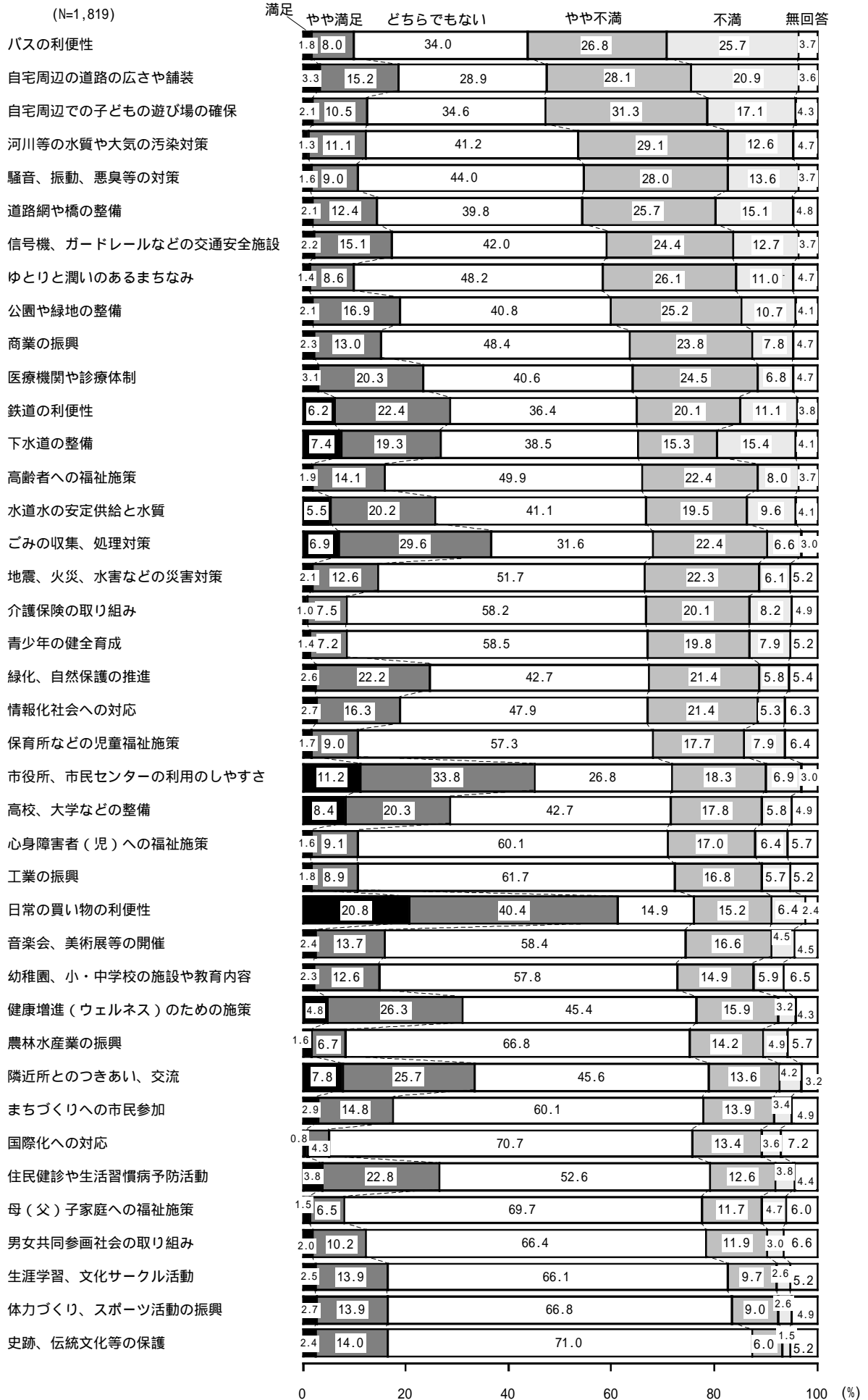
日常生活に関わる様々な生活環境および市政全般についての40項目に関して、現状にどの程度満足しているか、あるいはどの程度重要視しているかを図にまとめたものが図2 - 1 - 1と図2 - 1 - 4である。また、満足度が低い(「不満」、「やや不満」を合わせた値が高い)項目のうち、上位5項目を性・年齢別にまとめたのが表2 - 1 - 2、居住地区別にまとめたのが表2 - 1 - 3で、重要度が高い(「特に重要である」、「重要である」を合わせた値が高い)項目のうち、上位5項目を性・年齢別にまとめたのが表2 - 1 - 5、居住地区別にまとめたのが表2 - 1 - 6である。

まず、満足度についてみると、全体では「日常の買い物の利便性」が61.2%と最も高く、次いで「市役所、市民センターの利用のしやすさ」45.0%、「ごみの収集、処理対策」36.5%、「隣近所とのつきあい、交流」33.5%、「健康増進(ウェルネス)のための施策」31.1%が続く。

次に、満足度の低い項目について、市全体では、「バスの利便性」52.5%、「自宅周辺の道路の広さや舗装」49.0%、「自宅周辺での子どもの遊び場の確保」48.4%、「河川等の水質や大気汚染対策」41.7%が上位5項目である。

次に、重要度についてみると、全体では「ごみの収集、処理対策」が71.4%と最も高く、続いて重要度の高い順に「河川等の水質や大気汚染対策」69.5%、「医療機関や診療体制」64.9%、「水道水の安定供給と水質」64.8%、「地震、火災、水害などの災害対策」64.5%となっている。

【図2-1-1 生活環境評価（満足度）】



【表 2 - 1 - 2 性・年齢別 生活環境評価（満足度が低い、上位 5 項目）】

(%)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体	N=1,819	バスの利便性 52.5	自宅周辺の道路の広さ や舗装 49.0	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 48.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 41.7	騒音、振動、悪臭等 の対策 41.6
男	20歳代 N=79	河川等の水質や大気 の汚染対策 59.5	自宅周辺の道路の広さ や舗装 58.2	騒音、振動、悪臭等 の対策 53.2	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 48.1	道路網や橋の整備 46.8
	30歳代 N=106	自宅周辺の道路の広さ や舗装 55.7	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 52.8	道路網や橋の整備 51.9	騒音、振動、悪臭等 の対策 44.3	バスの利便性 44.3
	40歳代 N=106	自宅周辺の道路の広さ や舗装 59.4	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 53.8	道路網や橋の整備 50.9	河川等の水質や大気 の汚染対策 44.3	ゆとりと潤いのある まちなみ 44.3
				バスの利便性 50.9	ゆとりと潤いのある まちなみ 44.3	
	50歳代 N=176	バスの利便性 56.8	自宅周辺の道路の広さ や舗装 48.3	道路網や橋の整備 46.6	河川等の水質や大気 の汚染対策 45.5	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 42.0
	60歳代 N=162	自宅周辺の道路の広さ や舗装 46.9	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 44.4	騒音、振動、悪臭等 の対策 43.2	道路網や橋の整備 42.0	河川等の水質や大気 の汚染対策 40.1
	70歳以上 N=121	バスの利便性 43.0	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 36.4	自宅周辺の道路の広さ や舗装 34.7	ゆとりと潤いのある まちなみ 29.8	騒音、振動、悪臭等 の対策 28.9
女	20歳代 N=148	バスの利便性 62.8	自宅周辺の道路の広さ や舗装 56.1	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 56.1	河川等の水質や大気 の汚染対策 54.7	騒音、振動、悪臭等 の対策 47.3
	30歳代 N=187	バスの利便性 61.5	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 56.7	自宅周辺の道路の広さ や舗装 51.9	保育所などの児童福祉 施策 50.8	騒音、振動、悪臭等 の対策 47.6
	40歳代 N=186	バスの利便性 57.0	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 55.4	自宅周辺の道路の広さ や舗装 54.8	道路網や橋の整備 45.7	信号機、ガードレール などの交通安全施設 44.6
	50歳代 N=259	バスの利便性 54.8	自宅周辺の道路の広さ や舗装 49.4	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 48.3	道路網や橋の整備 43.6	河川等の水質や大気 の汚染対策 43.2
	60歳代 N=167	バスの利便性 55.7	自宅周辺の道路の広さ や舗装 44.9	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 44.3	介護保険の取り組み 38.3	鉄道の利便性 37.7
	70歳以上 N=116	バスの利便性 45.7	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 39.7	騒音、振動、悪臭等 の対策 36.2	鉄道の利便性 33.6	自宅周辺の道路の広さ や舗装 30.2 介護保険の取り組み 30.2

*「満足度が低い」というのは、「不満」「やや不満」の 2 回答を合わせた値が高いことをいう。

満足度の低い項目について、性・年齢別にみると、女性では、いずれの年代においても「バスの利便性」が 1 位であるが、男性では年齢によって異なり、20 歳代では「河川等の水質や大気の汚染対策」が、30～40 歳代および 60 歳代では「自宅周辺の道路の広さや舗装」が、50 歳代および 70 歳以上では「バスの利便性」が 1 位となっている。(表 2 - 1 - 2)

【表 2 - 1 - 3 居住地区別 生活環境評価（満足度が低い、上位 5 項目）】

	(%)				
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体 N=1,819	バスの利便性 52.5	自宅周辺の道路の広さ や舗装 49.0	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 48.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 41.7	騒音、振動、悪臭等 の対策 41.6
加古川 N=369	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 51.8	自宅周辺の道路の広さ や舗装 46.1	騒音、振動、悪臭等 の対策 43.6	道路網や橋の整備 43.4	バスの利便性 42.8
加古川北 N=169	バスの利便性 60.4	鉄道の利便性 56.2	自宅周辺の道路の広さ や舗装 49.1	道路網や橋の整備 46.7	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 39.1
野口 N=228	自宅周辺の道路の広さ や舗装 57.9	バスの利便性 49.6	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 46.5	道路網や橋の整備 45.6	河川等の水質や大気 の汚染対策 43.9
平岡 N=351	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 54.7	自宅周辺の道路の広さ や舗装 53.0	バスの利便性 50.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 46.4	騒音、振動、悪臭等 の対策 46.2
浜の宮 N=284	バスの利便性 64.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 53.2	騒音、振動、悪臭等 の対策 52.1	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 50.0	公園や緑地の整備 41.5
両荘 N=74	下水道の整備 56.8	バスの利便性 52.7	日常の買い物の利便性 51.4	商業の振興 45.9	鉄道の利便性 44.6
加古川西 N=248	下水道の整備 57.7	バスの利便性 50.8	自宅周辺の道路の広さ や舗装 48.4	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 45.6	水道水の安定供給と水 質 37.1
志方 N=89	下水道の整備 61.8	バスの利便性 60.7	自宅周辺の道路の広さ や舗装 59.6	自宅周辺での子ども の遊び場の確保 49.4	鉄道の利便性 44.9

居住地区別にみると、加古川北、浜の宮地区では「バスの利便性」が、野口地区では「自宅周辺の道路の広さや舗装」が、加古川、平岡地区では「自宅周辺での子どもの遊び場の確保」が、両荘、加古川西、志方地区では「下水道の整備」がそれぞれ 1 位となっている。(表 2 - 1 - 3)

【図2-1-4 生活環境評価（重要度）】



【表 2 - 1 - 5 性・年代別 生活環境評価（重要度が高い、上位 5 項目）】

(%)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体	N=1,819	ごみの収集、処理対策 71.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 69.5	医療機関や診療体制 64.9	水道水の安定供給と水 質 64.8	地震、火災、水害など の災害対策 64.5
男	20歳代 N=79	河川等の水質や大気 の汚染対策 78.5	地震、火災、水害など の災害対策 73.4	騒音、振動、悪臭等 の対策 69.6	ごみの収集、処理対策 68.4	日常の買い物の利便性 65.8
	30歳代 N=106	ごみの収集、処理対策 / 河川等の水質や大気 の汚染対策 83.0	83.0	騒音、振動、悪臭等 の対策 81.1	医療機関や診療体制 79.2	水道水の安定供給と水 質 76.4
	40歳代 N=106	河川等の水質や大気 の汚染対策 80.2	ごみの収集、処理対策 77.4	地震、火災、水害など の災害対策 74.5		
				医療機関や診療体制 74.5		
				水道水の安定供給と水 質 74.5		
	50歳代 N=176	河川等の水質や大気 の汚染対策 68.8	地震、火災、水害など の災害対策 67.6	騒音、振動、悪臭等 の対策 67.6	下水道の整備 63.6	医療機関や診療体制 62.5
60歳代 N=162	ごみの収集、処理対策 74.7	水道水の安定供給と水 質 71.6	河川等の水質や大気 の汚染対策 67.3		地震、火災、水害など の災害対策 66.7	
			下水道の整備 67.3			
70歳以上 N=121	ごみの収集、処理対策 67.8	水道水の安定供給と水 質 62.8	医療機関や診療体制 62.0	下水道の整備 60.3	住民健診や生活習慣病 予防活動 59.5	
女	20歳代 N=148	河川等の水質や大気 の汚染対策 88.5	地震、火災、水害など の災害対策 86.5	ごみの収集、処理対策 80.4	騒音、振動、悪臭等 の対策 79.1	水道水の安定供給と水 質 77.0
	30歳代 N=187	河川等の水質や大気 の汚染対策 75.9	地震、火災、水害など の災害対策 75.4	ごみの収集、処理対策 74.9	医療機関や診療体制 72.7	騒音、振動、悪臭等 の対策 70.6
	40歳代 N=186	ごみの収集、処理対策 80.1	河川等の水質や大気 の汚染対策 72.6	医療機関や診療体制 71.5	水道水の安定供給と水 質 66.7	保育所などの児童福祉 施策 70.6
						地震、火災、水害など の災害対策 65.6
	50歳代 N=259	ごみの収集、処理対策 72.2	河川等の水質や大気 の汚染対策 69.9	高齢者への福祉施策 63.7		医療機関や診療体制 62.9
				水道水の安定供給と水 質 63.7		
60歳代 N=167	ごみの収集、処理対策 58.1	水道水の安定供給と水 質 56.9	高齢者への福祉施策 55.1	河川等の水質や大気 の汚染対策 53.9	医療機関や診療体制 53.3	
70歳以上 N=116	ごみの収集、処理対策 48.3	騒音、振動、悪臭等 の対策 44.0		河川等の水質や大気 の汚染対策 42.2	医療機関や診療体制 41.4	
		高齢者への福祉施策 44.0				

* 「重要度が高い」というのは、「特に重要である」「重要度が高い」の 2 回答を合わせた値が高いことをいう。

重要度の高い項目について、性・年代別にみると、男性では、20～50 歳代で「河川等の水質や大気の大気汚染対策」が、60 歳代以上で「ごみの収集、処理対策」が 1 位を占めるが（30 歳代は両回答同率）、女性では、20～30 歳代で「河川等の水質や大気の大気汚染対策」が、40 歳代以上で「ごみの収集、処理対策」が 1 位を占めており、40～50 歳代で男女の意見が異なっている。（表 2 - 1 - 5）

【表 2 - 1 - 6 居住地区別 生活環境評価 (重要度が高い、上位 5 項目)】

	(%)				
	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
全体 N=1,819	ごみの収集、処理対策 71.4	河川等の水質や大気の 汚染対策 69.5	医療機関や診療体制 64.9	水道水の安定供給と水 質 64.8	地震、火災、水害など の災害対策 64.5
加古川 N=369	ごみの収集、処理対策 71.8	河川等の水質や大気の 汚染対策 68.8	医療機関や診療体制 68.0	騒音、振動、悪臭等 の対策 66.4	高齢者への福祉施策 65.9
加古川北 N=169	ごみの収集、処理対策 71.6	河川等の水質や大気の 汚染対策 70.4	34. 下水道の整備 69.8	医療機関や診療体制 69.2	地震、火災、水害など の災害対策 67.5
野口 N=228	ごみの収集、処理対策 70.2	日常の買い物 の利便性 水道水の安定供給と水 質 65.4 65.4	65.4	河川等の水質や大気 の汚染対策 64.9	地震、火災、水害など の災害対策 62.3 高齢者への福祉施策 62.3
平岡 N=351	河川等の水質や大気 の汚染対策 71.8	ごみの収集、処理対策 71.2	水道水の安定供給と水 質 70.4	地震、火災、水害など の災害対策 67.8	騒音、振動、悪臭等 の対策 65.2
浜の宮 N=284	ごみの収集、処理対策 74.6	河川等の水質や大気 の汚染対策 72.5	騒音、振動、悪臭等 の対策 64.8	医療機関や診療体制 64.4	地震、火災、水害など の災害対策 63.7
両荘 N=74	ごみの収集、処理対策 70.3	河川等の水質や大気 の汚染対策 68.9	34. 下水道の整備 66.2	高齢者への福祉施策 64.9	緑化、自然保護の推 進 58.1
加古川西 N=248	ごみの収集、処理対策 71.8	河川等の水質や大気 の汚染対策 71.4	医療機関や診療体制 69.0	水道水の安定供給と水 質 68.1	下水道の整備 67.7
志方 N=89	医療機関や診療体制 62.9	ごみの収集、処理対策 61.8	河川等の水質や大気 の汚染対策 下水道の整備 59.6 59.6	59.6	地震、火災、水害など の災害対策 57.3 緑化、自然保護の推 進 57.3

居住地区別にみると、平岡地区では「河川等の水質や大気の汚染対策」が、志方地区では「医療機関や診療体制」が1位となっており、それ以外の地区では「ごみの収集、処理対策」が1位となっている。(表 2 - 1 - 6)